

まごころの

山田石油(株)



山田正敏 社長

『山田石油の事業活動は、正直を第一として信用を高め、地域と共に成長したから今まで続いたと思います。儲けようとしていたら「百年企業」にはなっていなかったと思います。』

今年創業 100 周年の節目を迎える山田石油(株)。櫛ヶ浜に新本社ビルが完成しました。長く続く秘訣について、山田正敏社長にお話を伺いました。取材・編集/大下

本社を河東町から櫛ヶ浜へ移転



【創業100周年！】

初代の山田孝太郎さんは、下関で朝鮮との交易などをしていました。大正 12 年に下関で山田商店を創業し、三菱商事の特約店として石油製品の販売を開始したのが始まりです。現社長の山田正敏さんは4代目です。

昭和 27 年に直営給油所の第 1 号店をオープンし、その後のマイカーブームに乗り山口県全域にガソリンスタンド事業を展開。平成に入り、規制緩和に伴いガソリンスタンドのセルフ化が進み、監視カメラや個人でも給油可能な設備を設置してきました。今後は、電気自動車やハイブリッド車が増えるので、ガソリンスタンドだけでなく新車の販売やリースなどの事業展開も始めていきます。



↑ 1990 年代からガソリンスタンドのセルフ化の流れが始まりました

【社員の力は会社の資産！】

ガソリンには JIS 規格があり、値段や製品での差別化は難しいので、人的部分でのサービスで差別化を図っています。山田石油は人と人とのつながりが一番大切と考えています。販売業ですから、会社の資産＝社員の力です。給油所スタッフのあいさつが元気良かったり、親切であるとか、人を通して値段以上の価値を感じてもらい、選んでいただけることを念頭に置いています。



↑ 給油以外にも車検や保険もお任せください！

【最後の 1 件になっても！】

山口県内での圧倒的なブランド力を生かし、ハンバーグレストラン”びっくりドンキー”やお菓子の”シャトレゼ”など、様々なフランチャイズ事業を展開しています。

実は社長のお母様は料理好きで、プリンも手作りされていたとか。シャトレゼのプリンを食べ「この値段でこの味ならもうプリンは作らない！」と言われたとか。また、値段設定も良心的なので出店を決めたそうです。

山田社長は『スケートリンク、ボウリング場など、他の田舎にあるものは山口県にもあるように、最後の 1 件になっても続けていきたい。これからも「山口県の発展のため、地域とともに」をモットーに、あったほうがいいと思ったものをやっていく』とおっしゃっていました。



↑ 河東町にある旧本社事務所の入口にある昔の給油タンク



↑ 新本社ビルにある縁起の良いオリーブの木

■ DATA

【住 所】周南市大字櫛ヶ浜 457-1
【TEL】0834-26-2111
【FAX】0834-26-0421